

別府第9団

団所在地

団委員長 河野 福夫

団本部 別府市北中7-2組

Tel 0977-66-7075

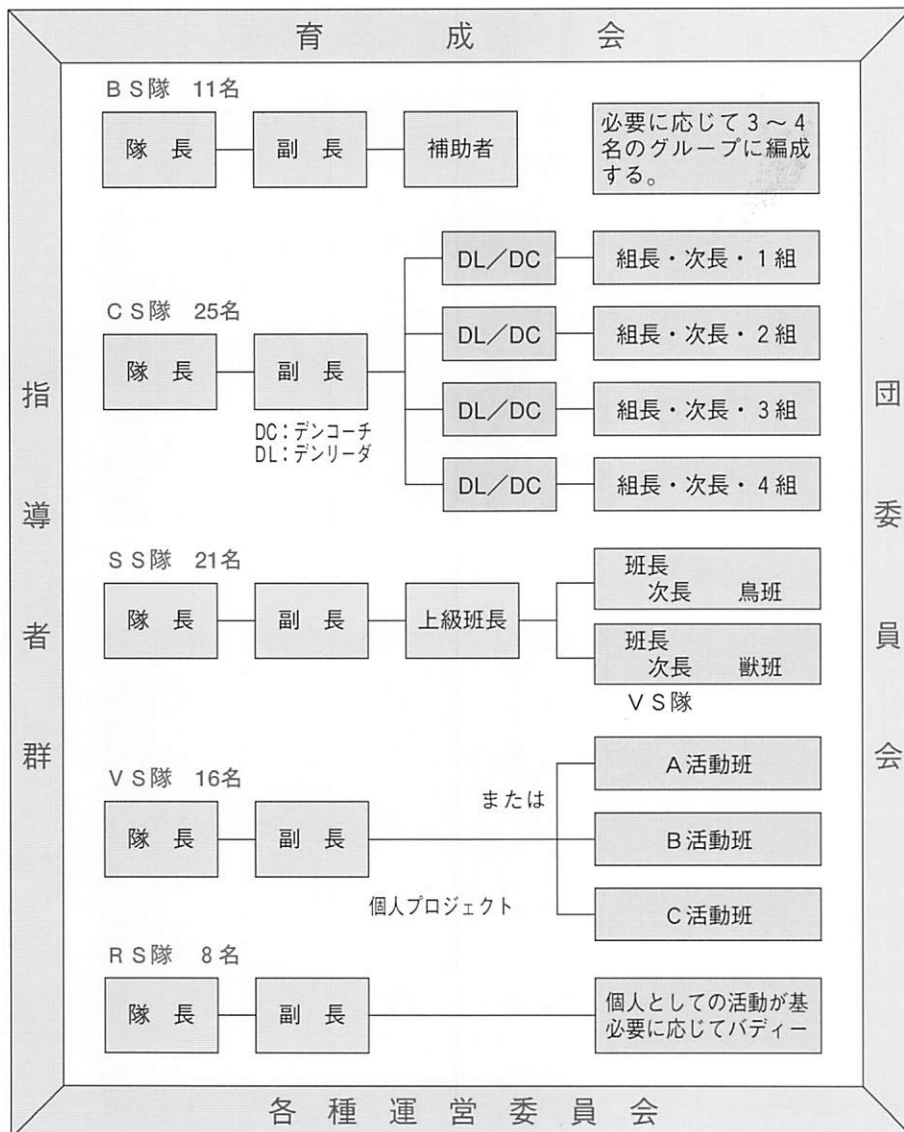
※ 事務局 高橋 進 方 別府市竹の内8-2組
0977-24-0451 (TEL/FAX)

	指導者数	スカウト数
B S 隊	3名	11名
C S 隊	5名	25名
S S 隊	5名	21名
V S 隊	3名	16名
R S 隊	2名	8名
合 計	18名	81名

登録数 99名
(平成12年度登録)

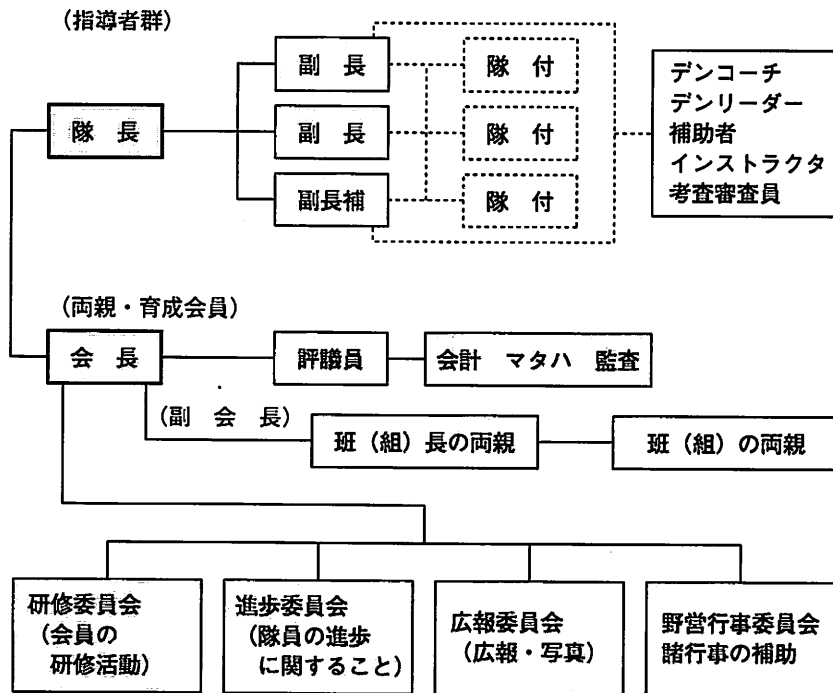


団組織の概要



別府第9団

団・隊運営の組織



- * 隊長（指導者群）と会長（両親の会）の連携がうまくとれるようにする。
- * 委員会の組織については、各隊の状況により組織すること。
（活動や行事の必要性に応じて、また、常時必要であれば、年間をとおして委員会を設置する。）
- * 団全体に委員会の組織を必要とする場合は、各隊の委員会が代表する。
また、組織の設置されていない隊については、臨時に委員を選出する。

- ・ 本団の基本方針として、家庭スカウティングなくして、集会・訓練のみの短時間では、とうていプログラムを消化できないし、ユニフォームを着用しているときだけのスカウティングでは無意味である。とのことから、まず保護者に、何らかの形で活動に参加し体験することを目的とし、一人一役で、スカウティングの学習と、団（隊）への協力をも義務づけている。
- ・ 基本的には、隊の組織としての学習・協力であるが、団行事においては、各隊からの担当者とリーダーが組織され、実行委員会を創り、ことにあたっている。

団の歩み

団登録 昭和53（1978）年12月10日（登録第44-02-02-009号）

- 昭和53年（1978）4月 発団準備開始
- 昭和53年（1978）12月24日発団 CS隊 18名
- 昭和54年（1979）4月 SS班発隊 3名
- 昭和59年（1984）2月 発団5周年記念行事
- 昭和60年（1985）4月 シニアー班 発隊 10名
- 昭和63年（1988）4月 ビーバー隊 発隊 12名
- 昭和63年（1988）11月 発団10周年記念行事（1泊2日）
- 平成4年（1992）9月 年度のサイクルを9月開始翌年8月終了とする。
- 平成8年（1996）9月 ローバースカウト班で発隊
- 平成9年（1997）11月 発団20周年記念行事（1泊2日）
- BS隊 10年級
- CS隊 20年級
- SS隊 20年級
- VS隊 15年級

主な活動内容

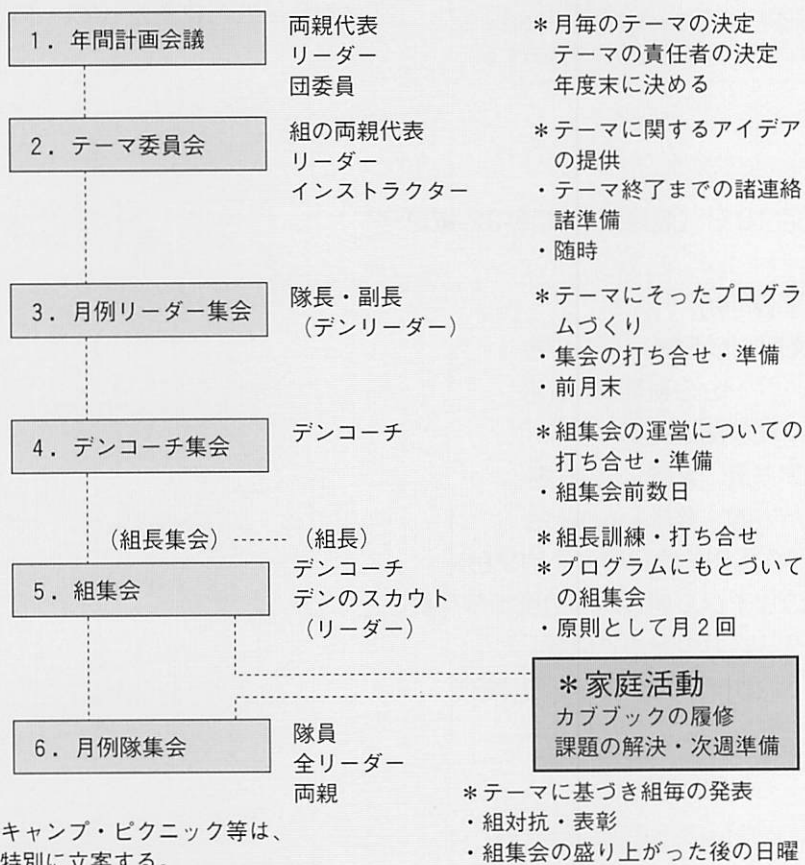
① 団活動

- 9月 上進式・入隊（団）式
全国スカウトデー行事
- 10月 育成会総会（会計年度総括・年間運営計画・役員選出）
- 11月 団ラリー
- 1月 初日の出 遥拝登山（鶴見岳）
耐寒キャンプ
- 2月 別大毎日マラソン交通整理奉仕活動
BP祭（各持ち寄り立食パーティー）別府市GSと合同
- 4月 団ラリー
- 8月 団キャンプ
入団（隊）説明会 体験入隊
各隊上進者・退団者送別会
- ※ 各隊 ナイトピクニックまたはオーバーナイトハイキング実施
BS：15km内外 CS：20km内外
SS：40km内外 VS：100km以上

② 隊活動

各月プログラムの流れにより集会・訓練内容の決定実践

カブ隊プログラムの流れ



- ・ 左の表はカブ隊の各月プログラムの流れであるが、各隊ともに年間計画に従い、前月または前々月からプログラム立案及び実施計画を主としてリーダー会議で準備している。
- ・ 月例リーダー会議及び研修の実施
隊毎のリーダー会議
- ・ 保護者の担当（例：デンリーダー等）及び希望参加者。

別府第9団

団の特徴、モットー等

別府市スカウティングの歴史の中で、本団名「9」が示すように、別府市には9個団は活動していない。子どもあつての団や隊であるが、発団・消滅の繰り返しであった。消長の原因はすべてリーダーサイドにあったと言っても過言ではなからう。我が団も、その意識なく発団したのではあるが、やはり、2年経過においては、子どもの数は増加するが、当初の勢い込んだリーダー数の極端な減少が見られるようになった。スカウティングフォアボーイズをいくら読んだとしても、子どもたちの力量では、隊や団の経営や活動はできない。やはり経験豊かな大人が必要である。子どもが居れば必ず父親が居り母親が存在する。少なくともスカウティングの何かが理解できなくて入団させてはいない。興味・関心をもって、また、我が子のスカウト像を描いているのは間違いない。たまたま当時デンマザー制度があり、「仕事や家庭の事情はあったにせよ年間の何日かだけに限定すれば、隊の活動に参加できないことはない。」の了解の元にインフォーマルの保護者対象の研修会を、月2回程度もち続ける中で、あるいは前述の隊（団）の運営組織において活動していただく中で保護者の中から、副長が誕生、隊長が誕生という図式が生まれ現在にいたるまで、父母の協力が大きい。またそれがなくては成り立たないと言うことを誰もが理解できていると言えよう。

「永遠の9団を求めて」をモットーにして、決して消してはならないスカウティングの火を別府の地に燃やし続けていくことを誓い合っている。

- ・機関誌「SHERE KAHN」の発行は、団・隊・育成会の活動及び運営の手引きとして毎年発行25号を数えている。また、隊毎の（例「ビーバーだより」）等の小新聞の発行、「カブ隊の一年」文集等でのコミュニケーションをはかる。
- ・B P 祭を中心として一家庭一品、一班（組）一品の持ち寄り立食パーティを行っているが、団員の家族（父母・祖父母・弟妹・ともだち）全員集合を見、年一度の最大のイベントが催されリクエストされている。
- ・ベンチャースカウトの何が何でもやり通す100kmハイキングの実施。
- ・別府第9団の歌作成



ボイスカウト 別府第9団のうた

(古本保満 作曲)
横井育子 編曲
高橋 達 作詞

おおーぎ やー ま に あさー か ぜー に
きよーも はためく かぶたいのたい き
きいろのネッカ チーフ きりりとしめて
すすんでいこ う よ
スカウトのみちをさあいこう さあいこう



機関誌の表紙